

第9回 がん診療グランドセミナー (第107回がん診療セミナー)

総合病院
がん診療
センター

ここが自慢！ がん診療におけるこの取り組み

第9回がん診療グランドセミナーを開催します。総合病院全体の「がん診療センター」に位置づけしており、複数の診療科から「がん」に対する取組について発表します。医師だけでなく全ての医療職を対象とし、院外からの参加者も歓迎しています。

平成30年 **12月13日(木)** **18:00~19:30**

会場：滋賀県立総合病院 研究所講堂

■ 一般演題発表 (発表9分 質疑応答3分)

★発表1 「消化器内科多発するHigh-grade PanIN病変に合併した
浸潤性膵管癌の一例」

中山 真之介 (消化器内科 レジデント)

★発表2 「下部直腸癌に対する新しいアプローチ：
経肛門内視鏡手術 (taTME、tpTME)」

山田 理大 (外科 医長)

★発表3 「平成30年度診療報酬改定に伴う、
緩和ケアチームのケア提供体制の変更について」

富永 千鶴 (緩和ケアセンター 緩和ケアチーム 専任看護師)

★発表4 「がん診療とクリニカルパス」
堀田 弥果 (クリニカルパス委員会 医療情報室 主事)

★発表5 「がん相談支援センターのご紹介 “3つの自慢話”」
三輪 真澄 (地域医療連携室 がん相談支援センター がん専門相談員)

司会進行 後藤 知之 (消化器内科 副医長)

■ ミニレクチャー

「不都合な真実：飲酒による遺伝子損傷」

木下 和生 (研究所 専門研究員)

主催：滋賀県立総合病院 / 共催：一般社団法人滋賀県薬剤師会